



# なぜ勉強しないといけないの？ 学んでどんな意味があるの？

進路を考えていかなければならないこの時期に、「なぜ勉強しないといけないの？」とふと疑問に思ってしまう事も…。そういうときに「成績のため」と言われ、もちろん成績のため、高校に行くため、自分自身のため、と分かっている。わかってはいるんだけど…。なんだかな～。

なかなか勉強する意味を見いだせない人もいます。学ぶ意味を掘り下げて考えてみましょう。自分の納得できる意味や理由がみつければ、勉強が好きになれるかもしれませんね。

## 人生を豊かにする

勉強する意味の1つめは、人生を豊かにするため。

国語で語彙力や読解力をつけると、読書や漫画、アニメなどをさらに楽しめるし、文章で自由に表現することもできる。数学の計算ができれば買い物も便利だし、論理的に物事を考えることもできる。理科がわかると、料理や美容、健康にも役立つし、歴史、地理の知識があれば旅行だって面白さが増す。プログラミングの知識で、便利なアプリやゲームをつくることもできるし、美術や音楽の知識で、デザイン、アート、音楽を楽しんだり創作したりもできる。英語を学ぶと、海外の本や動画、映画を幅広く楽しめるし、海外の友達も作りやすい。

このように知識があるほうが、人生でさまざまな経験を楽しめたり、味わったりできます。

## 視野を広げて発想を自由にする

勉強する意味の2つめは、視野を広げて頭をやわらかくするため。

知識を得て新しいものの見方や考え方が手に入るたび、君たちの視野は広がっていきます。知識と知識を組み合わせると新しい発想やアイデアも生みだしやすくなります。そしていろいろな文化、価値観、感性、意見をもつ人たちとも、壁をつくらずに仲間になれます。

## 学び方を学ぶ

勉強する意味の3つ目は、自分なりの効率的な学び方を学ぶため。

学校の勉強というのは、先人達が学んで得た知識を、体系的に学べる仕組みになっています。テ

スト勉強や日ごろの予習復習をしながら、自分が最も効率よく知識を学べる勉強法をあれやこれやと試しながら身に付けよう。自分にとってベストの学び方を学べば、何か新しいことを学ぶときにいつも役立ちます。学ぶことは大人になってもずっと続くことだから、中学生のうちから自分の学び方を知っておけば、それだけ多くのことを学んで身につけていくことができます。

## 選択肢を広げる

勉強する意味の4つ目は、人生の選択肢を広げるため。

勉強することで学校や仕事選びなど、進路の選択肢が広がります。中学校ではいろいろな分野の基礎知識を積みあげます。その先の憧れや興味のあることをもっと学べるし、将来その道の専門家になれるかもしれない。2つの分野を専門に学べば、それらを組み合わせると新しい自分だけの職業を作り出せるかもしれない。それに選択肢が増えるのは進路だけではありません。何かの分野を教養として学べば、趣味や人生の楽しみの選択肢も広がるし、趣味つながりの仲間もできるかもしれません。

「勉強ってなんですか？」この問いに対する答えはみつかりましたか？

もちろん成績を上げるため、高校に合格するために勉強は必要です。しかしもっと広い視野で先を見た時、勉強は人生を豊かにしたり、自由な発想を生んだり、効率的な勉強法が身についたり、将来の選択肢が広がったりなど、いろいろとよいことがあります。

**人間を賢くし人間を偉大にするものは、過去の経験ではなく、未来に対する期待である  
なぜならば、期待をもつ人間は、何歳になっても勉強するからである** バーナード・ショー

バーナード・ショーは、ノーベル文学賞を受賞した、アイルランド出身の文学者、劇作家、そして社会思想家で教育者です。イギリス近代演劇を確立した人として、94歳で亡くなるまでに、53本もの演劇の脚本を残しました。バーナード・ショーは、「未来の自分」に期待することはとても大事だと言っています。彼が94歳まで精力的に多数の作品を書き続けられたのも、未来の自分に期待し続けられたからでしょう。過去の栄光や失敗にこだわるより、未来の自分に期待し続けるほうが頑張れそうですね。

未来の理想の自分に期待しながら、コツコツと勉強をしていこう。

## 毎学ノート終了 継続は力なり

～6月14日  
3冊目…①〇〇〇〇  
2冊目…④〇〇〇〇  
1冊目…①〇〇〇〇 ③〇〇〇〇 ⑥〇〇〇〇

